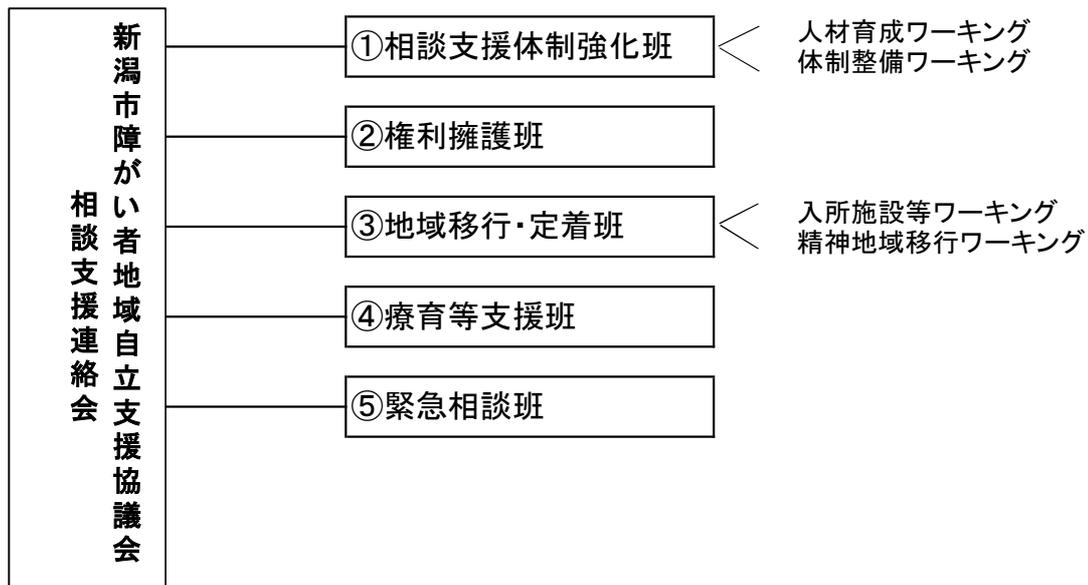


新潟市障がい者地域自立支援協議会 相談支援連絡会における各班活動の実績

【相談支援連絡会の体制】



①相談支援体制強化班（H30.4～）

- 人材育成ワーキング（H31.4～）
 - ・人材育成ビジョンによる研修にかかること
 - ・計画相談相談事業所の評価・および改善に向けた取り組み
- 体制整備ワーキング（H31.4～）
 - ・計画相談相談事業所の評価・および改善に向けた取り組み
 - ・福祉サービス事業所等との連携にかかること
 - ・その他、体制強化にかかわること

②権利擁護班（H30.4～）

- ・障がい者虐待防止対応にかかわること
- ・成年後見にかかる相談にかかわること
- ・新潟市障がいのある人もない人もともに生きる街づくり条例にかかわること
- ・障がい者の意思決定に関すること
- ・セルフアドボカシー（当事者権利・擁護）に関すること

③地域移行・定着班（H30.4～）

- 精神地域移行ワーキング（H31.4～）
 - ・地域移行地域定着の促進およびネットワークにかかわること
 - ・精神科病院等とのネットワークにかかわること
 - ・精神障害者地域包括ケアシステムに関すること
- 入所施設等ワーキング（H31.4～）
 - ・地域移行地域定着の促進およびネットワークにかかわること
 - ・入所施設および矯正施設からの対応にかかわること

④療育等支援班（H30.4～）

- ・在宅障害児等の地域生活にかかわること
（発達障がい児、重度心身障害児者、強度行動障害児者など）
- ・障がい児のライフステージにかかわること
- ・児童の計画作成に関すること

⑤緊急相談班（H31.4～）

- ・緊急コールセンターの相談体制にかかること
- ・その他、地域生活拠点等に必要な協議

令和元年度 新潟市障がい者地域自立支援協議会相談支援連絡会名簿

		所 属	職名・役職	氏 名	備考
相談支援連絡会		新潟県地域生活定着支援センター	センター長	本多 崇人	会長
		新潟市障がい者基幹相談支援センター西	相談員	竹田 一光	副会長
		各班班長	省略(5名)		
相談支援体制強化班	人材育成WG	自立支援センターまんにち	係長	関川 敦子	班長
		障がい者(児)生活支援センターわあ〜らく	管理者・相談支援専門員	本井 ひろみ	
		相談支援事業所 恩田調整店	相談支援専門員	恩田 大輔	
		あたご相談センター	相談支援専門員	鈴木 和幸	
		新潟市障がい者基幹相談支援センター中央	相談員	川本 真貴子	
		新潟市障がい者基幹相談支援センター東	相談員	茂木 さやか	
	体制整備WG	相談支援センターウィズ	管理者・相談支援専門員	大杉 美津夫	
		地域生活支援センターゆとりあ	相談支援専門員	鈴木 一由	
		新潟市障がい者基幹相談支援センター秋葉	相談員	山際 優子	副班長
		新潟市障がい者基幹相談支援センター西	相談員	貝沼 静江	
江南区健康福祉課 障がい福祉係		係長	小柳 光明		
権利擁護班		しなのがわ法律事務所	弁護士	高橋 直己	班長
		新潟市障がい者基幹相談支援センター秋葉	相談員	杉山 貴則	副班長
		新潟市障がい者基幹相談支援センター東	相談員	田名部 康介	
		新潟市障がい者基幹相談支援センター西	相談員	竹田 一光	
		新潟市障がい者虐待防止センター	虐待防止員	伊藤 裕美	
		西区健康福祉課 障がい福祉係	係長	山田 斉	
地域移行・定着班	精神地域移行WG	白根緑ヶ丘病院	精神保健福祉士	寺尾 真二	班長
		訪問看護ステーションめぐみ	看護師	和氣 一弘	
		地域生活支援センターふらっと	施設長	二宮 寛	
		新潟市障がい者基幹相談支援センター中央	相談員	志賀 あずさ	
		新潟市障がい者基幹相談支援センター西	相談員	丸山 幸代	副班長
		新潟市こころの健康センター	主査	飛澤 佐代子	副班長
	入所施設等WG	社会福祉法人新潟太陽福祉会 太陽の村	副園長	大滝 勝英	班長
		社会福祉法人更生慈仁会 ゆかり	相談員	五十嵐 美幸	
		社会福祉法人更生慈仁会 はまゆう	施設長	渡辺 弘子	
		社会福祉法人新潟みずほ福祉会 第2みずほ園	主任	渡邊 祐輔	
		新潟市障がい者基幹相談支援センター東	相談員	笹川 朋子	副班長
		新潟市障がい者基幹相談支援センター中央	相談員	坂井 裕希	
		北区健康福祉課 障がい福祉係	副主査	樺沢 万葉	
療育等支援班		新潟市障がい者基幹相談支援センター東	相談員	今田 靖久	班長
		新潟市障がい者基幹相談支援センター秋葉	相談員	杵野 彩香	副班長
		新潟市障がい者基幹相談支援センター中央	相談員	川本 真貴子	
		新潟市障がい者基幹相談支援センター中央	相談員	川村 優子	
		新潟市障がい者基幹相談支援センター西	相談員	久代 愛子	
		新潟市障がい者基幹相談支援センター秋葉	相談員	本間 康子	
		東区健康福祉課 障がい福祉係	主査	田中 恒郎	
		障がい福祉課 給付係	主事	遠藤 梨紗	
緊急相談班		新潟市夜間・休日コールセンター らいとほうす	主任コーディネーター	細井 聡仁	班長
		社会福祉法人更生慈仁会 十字園	生活支援課課長	久根内 恵子	
		新潟市障がい者基幹相談支援センター秋葉	相談員	肥田野 淳平	
		新潟市障がい者基幹相談支援センター西	相談員	飯田 誉人	
		新潟市障がい者基幹相談支援センター西	相談員	竹田 一光	副班長
		障がい福祉課 給付係	副主査	入山 涼	

令和元年度 新潟市障がい者地域自立支援協議会 相談支援連絡会
各班活動の実績

相談支援体制強化班（体制整備ワーキング）

課 題	①計画相談支援事業所の整備											
活動目標	身近な地域で相談でき、課題解決できる地域の体制整備を目指す											
活動計画	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
		班全体会	班全体会・WG会議	アンケート作成打ち合わせ	相談事業所向けアンケート完成		アンケート進捗報告（全体会）	アンケート配布	アンケート集計	体制ビジョン作成		アンケート結果報告
活動実績	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
		班全体会	班全体会・WG会議	アンケート作成打ち合わせ	アンケート案作成・検討	→	アンケート完成・進捗報告					
	<p>●相談事業所向けアンケート作成の検討会（7/30, 8/30, 9/27）</p> <p>①昨年度の「相談支援事業所体制調査」資料にて、計画相談事業所の現状と現場の実態を分析</p> <p>②アンケートの内容の「たたき案」を検討、作成</p> <p>③実際に、プレアンケートを実施。修正後、各計画相談事業所へ配布予定（11月）</p> <p>《今後》</p> <p>今年度は、経営面、個別ケースの負担感、国・市の施策に望むことなどを明確にする。</p> <p>市の把握と計画相談事業所の現実が一致しているかを確認→差を埋める体制案を検討していく。</p>											
班員	<p>相談支援センターウイズ：大杉 美津夫、地域生活支援センターゆとりあ：鈴木 一由</p> <p>基幹C西：貝沼 静江、基幹C秋葉：山際 優子</p> <p>江南区健康福祉課障がい福祉係：小柵 光明</p>											

令和元年度 新潟市障がい者地域自立支援協議会 相談支援連絡会
各班活動の実績

相談支援体制強化班（人材育成ワーキング）

課 題	②人材育成（計画相談員研修、人材育成ビジョン作成）											
活動目標	質の高い相談支援の人材育成を目指す											
活動計画	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
		班全体会	班全体会・WG会議	研修会案内送付	初任者・現任者研修〔前期〕				現任者研修〔後期〕		ブラッシュアップ研修	
活動実績	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
		班全体会	班全体会・WG会議	研修会案内送付	初任者・現任者研修〔前期〕	<p>●初任者・現任者研修【前期】（8/28開催 参加者：38名） （内容）</p> <p>①行政説明・・・障がい福祉課より ・「障がい者福祉における相談支援の充実に向けた取り組みについて」 ・「平成31年度以降の計画相談支援等に係る留意事項について」 ・「特定事業所加算等に係る記録について」</p> <p>②講義 ・「計画作成について」「相談員のスキルアップ・業務管理のポイント」について→グループワーク</p> <p>（結果） ・国や市の目指す計画相談の取り組みや加算、記録に係る留意点等を計画相談員に伝えることができた。 ・計画作成における「アセスメント」の基本を改めて認識でき、日ごろの業務を振り返り、アイデアを共有する場となった。 ・県の研修があっても、毎年このような内容の研修会を開催してほしいとの意見が多く寄せられた。</p>						
班員	自立支援センターまんにち：関川 敦子、障がい者（児）生活支援センターわぁ〜らく：本井 ひろみ あたご相談センター：鈴木 和幸、恩田調整店：恩田 大輔 基幹C中央：川本 眞貴子、基幹C東：茂木 さやか											

令和元年度 新潟市障がい者地域自立支援協議会 相談支援連絡会
各班活動の実績

相談支援体制強化班（人材育成ワーキング）

課 題	②人材育成（基幹研修会）												
活動目標	質の高い相談支援の人材育成を目指す												
活動計画	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	新潟市障がい福祉課と相談の上必要な研修を実施
		新人職員オリエンテーション		事例検討（GSV）/評価			事例検討（GSV）/評価		事例検討（GSV）/評価	（地域生活支援拠点について）研修	事例検討（GSV）/評価	（児童の発達・支援者連携について）専門分野別研修	
活動実績	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
		新人職員オリエンテーション		事例検討（GSV）/評価			研修（成年後見制度に係る支援業務について）						
<p>●新人職員オリエンテーション研修（5/27実施）</p> <p>・基幹C相談員としての業務における接遇、ケアマネージメントのポイント、自立支援協議会運営、「障がい者虐待、権利擁護」と「ともまち条例」における業務説明、留意点を確認した。</p> <p>●事例検討・・・事例提供 基幹C中央（7/12実施）</p> <p>・インシデント・プロセス法を用いたファシリテーション技術の向上を図った。</p> <p>●成年後見制度に係る支援業務について研修（9/13実施）</p> <p>・4センターの支援の平準化を目指し、業務マニュアルを確認した。</p> <p style="text-align: right;">GSV：グループスーパービジョンの略</p>													
班員	<p>・基幹相談支援センター相談員全員</p> <p>・新潟市障がい福祉課給付係</p>												

令和元年度 新潟市障がい者地域自立支援協議会 相談支援連絡会
各班活動の実績

権利擁護班

課題	<ul style="list-style-type: none"> 市障がい者虐待対応マニュアル（改訂版）を活用した相談支援体制の改善 セルフアドボカシー（自己権利擁護）周知・検討 											
活動目標	<ul style="list-style-type: none"> ①「市障がい者虐待対応マニュアル」改訂版の啓発と検証 ②セルフアドボカシー支援の啓発～暮らしのルールブック活用講座の開催～ 											
活動計画	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
		5/2 (水) 打ち合わせ	市職員向け虐待研修に班メンバー参加。その後、顔あわせ兼方向性の確認会議（第1回会議）		8/1 (木) 第2回会議	9/25 (水) 第3回会議		11/27 (水) 第4回会議			2/26 (水) 第5回会議	
活動実績	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
班員	<ul style="list-style-type: none"> ①「市障がい者虐待対応マニュアル」改訂版の啓発と検証 <ul style="list-style-type: none"> 各メンバーで情報収集し、現状把握：第2回会議（8/1） 第3回会議（9/25） →通報後の初動対応で各区の担当職員は判断・方針決定を委ねられているが故の困難さがある。（負担感） →コア会議のタイミングが通報時点での情報不足から、情報収集をした後に会議開催に至るケースも少なくない。そのため障がい者虐待への対応フローどおりには実施できていないことを確認する。 →個別ケース会議では様式をうまく活用することで次回の会議までの役割や進捗状況が分かり、継続的且つ途切れない支援で実施できている。（チーム対応の定着と継続性） →行政以外の関係者が各様式に触れる機会は会議参加していない限りは少ない。今後、研修などで虐待対応マニュアルに沿って各様式の活用方法の周知などの必要性がある。 ②セルフアドボカシー支援の啓発～暮らしのルールブック活用講座の開催～ <ul style="list-style-type: none"> * 西蒲区自立支援協議会で地域課題にあがった「セルフアドボカシー支援の必要性」の課題に対し、基幹C西が業務として対応 ※セルフアドボカシー支援と題した講義プログラムを現在、地域活動支援センターで遂行、その他要望があった地域や事業所へ研修会として企画立案。（別紙 参照） <p>《今後の取り組み》</p> <ul style="list-style-type: none"> ①2月開催予定『虐待防止 意見交換会』：事例に基づいた虐待対応マニュアルに沿った各様式の活用について立案中。 ②セルフアドボカシー支援の啓発を目的に権利擁護班メンバーも別紙研修会のいくつかに参加、今年度は幅広い地域での研修会の実施を目指し、種を蒔いている状況。 											
	<ul style="list-style-type: none"> 班長：高橋 直己（しなのがわ総合法律事務所） 副班長：杉山 貴則（基幹秋葉） 山田 斉（西区障がい福祉課係長） 伊藤 裕美（市虐待防止専門員） 竹田 一光（基幹西） 田名部 康介（基幹東） 											

【別紙】

新潟市障がい者地域自立支援協議会 相談支援連絡会 権利擁護班2019年活動目標②

セルフアドボカシー支援の啓発「暮らしのルールブック」活用講座の開催
これまでの実施状況と今後の予定

2019年8月26日(月)現在

① 地域活動支援センターを会場にしての障がい当事者対象の公開勉強会

- 6/ 5(水) 13:30～14:30
第1回 テーマ「自分の情報は他の人にもらさないだよ」
* 参加者:24名(当事者15名,家族1名,支援者3名,主催スタッフ5名)
- 6/19(水) 13:30～14:30
第2回 テーマ「ネット犯罪に気をつけよう」
* 参加者:16名(当事者11名,支援者1名,主催スタッフ4名)
- 7/ 2(火) 13:30～14:30
第3回 テーマ「プライベートとパブリック」
* 参加者:16名(当事者12名,支援者1名,主催スタッフ3名)
- 7/16(火) 13:30～14:30
第4回 テーマ「ものを盗んではいけません」
* 参加者:17名(当事者12名,支援者1名,主催スタッフ4名)
- 8/ 7(水) 13:30～14:30
第5回 テーマ「～ものをぬすんだら、どうなる?その2～」
* 参加者:14名(当事者9名,支援者1名,主催スタッフ4名)
- 8/21(水) 13:30～14:30
第6回 テーマ「ものをこわしたくなったらどうしよう?」
* 参加者:12名(当事者8名,支援者1名,主催スタッフ3名)
- 9/ 5(木) 13:30～14:30
第7回 テーマ「人の名前を使って手紙を作成したり、金銭を要求してはいけません」
* 参加者:14名(当事者10名,支援者1名,主催スタッフ3名)
- 9/17(火) 13:30～14:30
第8回 テーマ「性犯罪をしてはいけません～その1～」
* 参加者:14名(当事者8名,支援者1名,主催スタッフ5名)
- 10/1(火) 13:30～14:30
第9回 テーマ「性犯罪をしてはいけません～その2～」
* 参加者:14名(当事者9名,支援者1名,主催スタッフ4名)
- ★これ以降、月2回ペースで継続していく予定
- 区自立支援協議会で地域課題の一つとして挙げられた「セルフアドボカシー支援の必要性」の課題に対して地区対応の基幹相談支援センター(西)業務として開始。西蒲区自立支援協議会全体にも報告。
 - 8/7第5回から、市自立支援協議会権利擁護班の今年度活動方針である「セルフアドボカシー支援」の一貫の啓発事業としても位置づけスタッフとして参加
 - 2019年文部科学省「障害者の多様な学習活動を総合的に支援するための実践研究」の委託を受けたNPO法人PandA-Jが行う「セルフアドボカシー支援に向けたキャリア教育と地域包括支援プログラム暮らしのルール講座」についての研究事業の一環として参加者に研究承諾書(同意書)を戴き実施中。

終了

② 障がい福祉サービス通所事業所職員向け研修会

- 7/20(土) 10:00～12:00
「性トラブルにどう対処?～実際困っている事例で考えよう」
* 終了 参加者:50名(職員48名、主催スタッフ2名)
●市自立支援協議会権利擁護班の今年度活動方針である「セルフアドボカシー支援」の一貫として啓発としての研修会講師を担った。

③ 特別支援学校教職員向け研修会

- 7/30(火)9:30～11:30
県立特別支援学校教職員・寄宿舎指導員に対して
「犯罪に巻き込まれないための本人との学び(暮らしのルールブックの活用)」
* 終了 参加者:55名(教員33名(小9,中10,高13,支援級1)寮支援者19名,主催スタッフ3名)

- 区自立支援協議会がくふく連携会議で特別支援学校教員から依頼を受け地区対応の基幹相談支援センター(西)が業務として対応
- 後追いで、市自立支援協議会権利擁護班の今年度活動方針である「セルフアドボカシー支援」の一貫としての啓発事業に位置づけスタッフを担った。

④障がいのある方のご家族向けの研修会

- 10/23(水)10:00～12:00
手をつなぐ育成会会員研修会約100名のご家族に対して
「楽しく生きていくために～セルフアドボカシーについて考える」
これから※参加者:名(当事者名,支援者名,主催スタッフ名)
●自立支援協議会権利擁護班の今年度活動方針である「セルフアドボカシー支援」の一貫の啓発としての研修会講師を担う予定

令和元年度 新潟市障がい者地域自立支援協議会 相談支援連絡会
各班活動の実績

地域移行・定着班（精神地域移行ワーキング）

課題	<p>真に地域移行支援が必要な長期入院患者さんはどれだけいるのか、地域移行支援事業は使いづらいのか？ 地域の受け皿や相談機関（指定一般事業所）は本当に足りていないのか？本当のニーズがわからない。 精神保健福祉情報ガイドブックがH28年度以降、障がい者福祉のしおりと統合され発行されなくなった。精神に特化したガイドブックがあれば使いやすい。</p>											
活動目標	<p>精神科病院へのアンケートを通して、地域移行に関する実態を把握し、実態に合わせた地域づくりの方法を考える。 精神保健福祉情報ガイドブックについてニーズを調査し、ニーズが多くあれば作成する。</p>											
活動計画	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
活動実績	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
班員	<p>・新潟信愛病院：永峯（9月末まで班長） ・白根緑ヶ丘病院：寺尾（10月より班長） ・訪問看護ステーションめぐみ：和気 ・ふらっと：二宮 ・こころの健康センター：飛澤 ・基幹西：丸山 ・基幹中央：志賀</p>											

令和元年度 新潟市障がい者地域自立支援協議会 相談支援連絡会
各班活動の実績

地域移行・定着班 (入所施設等ワーキング)

課 題	入所待機者の解消について (区自立支援協議会からの課題提起)											
活動目標	①施設入所待機者の現状把握を行う。 ②真の待機者の把握について検討する。 ③障がい者支援施設入所者の介護保険施設への移行について検討する。介護保険施設の現状を知る。											
活動計画	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
			第一 回班 会議			第二 回班 会議	高齢 施設 見学	第三 回班 会議			第四 回班 会議	
活動実績	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
			第一 回班 会議			第二 回班 会議						
	・1回目の会議では、真の待機者の把握は容易ではないこと (入所の順番が回ってきた際に、支援者が入所の緊急性が高いと感じていても、家族はまだ在宅で良いとの考えがあり、入所を辞退してしまうなど) を情報共有した。 退所者が少ないため、施設の動きが少ない。入所者の高齢化に伴い、適切な支援を継続して提供するための対応の一つとして、介護保険施設への移行についての情報が出された。 ・2回目の会議では、障がい福祉課から個人情報を除いた待機者管理表の提供を受け、現状把握を行った。結果、強度行動障がい者など、重度知的障がい者が特定の施設にかたよって待機しており、いつまでも入所の順番が回ってこないことが懸念され、改善に向けた課題を検討中。 ※10月に介護保険施設の見学を行い、障がい施設からの入所移行の実情を把握する予定。											
班員	○更生慈仁会はまゆう：渡辺施設長 ○〈班長〉新潟太陽福祉会 太陽の村：大滝副園長 ○新潟みずほ福祉会：第2みずほ園 渡邊 ○更生慈仁会相談支援センターゆかり：五十嵐 ○北区健康福祉課障がい福祉係：樺沢 ○〈副班長〉障がい者基幹相談支援センター東：笹川 ○障がい者基幹相談支援センター中央：坂井											

令和元年度 新潟市障がい者地域自立支援協議会 相談支援連絡会
各班活動の実績

療育等支援班

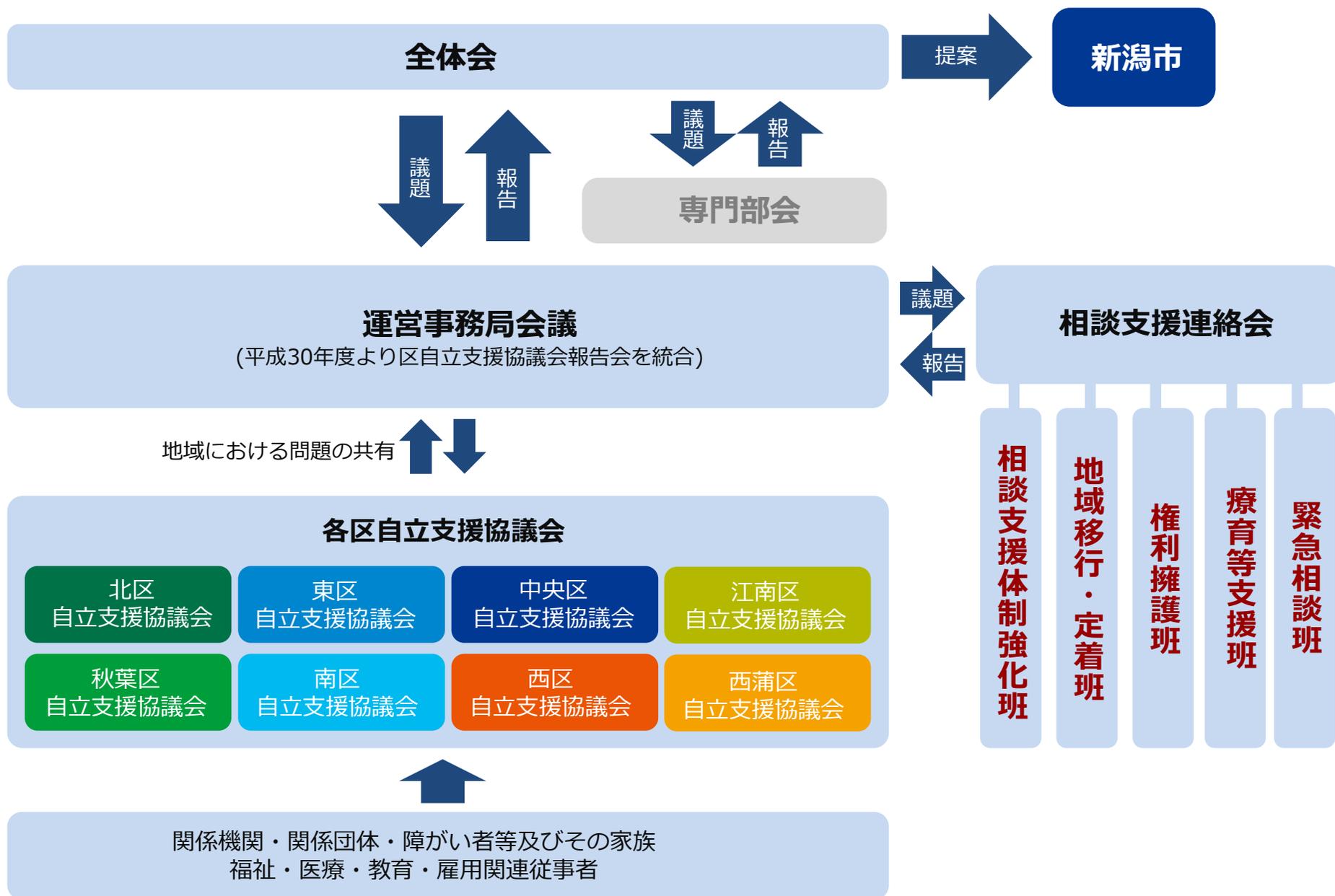
課 題	・重症心身障がい児や医療的ケアが必要な障がい児者の支援体制の整備について ・教育と福祉の連携体制について											
活動目標	①重症心身障がい児や医療的ケアが必要な障がい児の現状を把握する ②療育支援について、教育機関等に対する啓発や制度説明を実施する際の資料の作成を行う											
活動計画	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	重心 ネット 4/24	打合せ（適宜）				第1回 9/9	第2回 10/17	第3回 11/14	第4回 12/12	第5回 1/16	第2回 全体会	
活動実績	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	重心 ネット 4/24		打合せ 6/5	打合せ 7/3 7/25		第1回 9/9						
	<9月までの活動> ・今年度以降の班活動の目的・内容・メンバー構成等の再確認を行い、下半期の活動予定について検討した。 <今後の活動予定> ①について：現状・課題把握のためのアンケート調査を実施する。 調査対象：障がい福祉サービスを利用している重症心身障がい児・医療的ケア児を担当している相談支援事業所（相談支援専門員） ※調査内容・実施時期について、今後検討予定。 ②について：教育機関等に対する啓発や制度説明を実施する際の資料の作成を行う。											
班員	(基幹相談支援センター)今田、川本、川村、久代、本間、杵鞭 (東区健康福祉課障がい福祉係)田中、(障がい福祉課給付係)星野、遠藤 ●重症心身障害支援ネットワークにいがた (すてっぴさぼーと)野崎管理者、大野相談支援専門員、(トゥインクル)古川管理者 (コスモス)小畑サービス管理責任者、(すずまり)水信支援員 (西新潟中央病院)稲澤療育指導室長 (県立東新潟特別支援学校)鈴木教諭・駒野教諭、(県立はまぐみ特別支援学校)井口教諭 (県立西蒲高等特別支援学校)熊倉教諭											

令和元年度 新潟市障がい者地域自立支援協議会 相談支援連絡会
各班活動の実績

緊急相談班

課 題	①緊急コールセンターの相談体制にかかること ②その他、地域生活支援拠点等に必要な協議											
活動目標	①夜間・休日コールセンター、基幹相談支援センター、短期入所事業所の連携体制確立 ②地域生活支援拠点等についての学びを深めていく											
活動計画	4月	5月	6月 6/4 (火) 第1回 班会議 15:00~	7月	8月 8/6 (火) 第2回 班会議 15:00~	9月	10月 10/2 (水) 第3回 班会議 15:00~	11月	12月 12/3 (火) 第4回 班会議 15:00~	1月	2月 2/4 (火) 第5回 班会議 15:00~	3月
					コールセンターらいとはうす状況把握		協定事業所アンケート実施 ↓ 集計	第1回 協定事業所連絡調整会議 開催	12/2(月)片桐厚労省障害福祉専門官「地域生活支援拠点」講演会	年度内の登録目標を再設定		
活動実績	<p>【6/4(火)第1回班会議】*班長を細井氏に依頼 〈班の立ち上げの経緯と目的について確認〉 新体制になってからの夜間・休日コールセンターの現況報告、十字園の現況報告、班の年間方針策定する</p> <p>【8/6(火)第2回班会議】 〈現状・課題共有実施〉 (a) 休日・夜間コールセンターらいとはうすの再編出発1年間の現況と課題の報告 ※詳細、細井様作成資料「夜間・休日相談支援事業 コールセンターらいとはうすの対応例」参照 (b) 基幹相談と休日・夜間コールセンターとの連携状況 (c) 市内短期入所事業所との連携協定の締結の進捗状況 〈協定事業所の実情把握、連絡調整会議開催に向けての課題整理、内容確認について詰めていく事を確認〉 〈新潟市における「地域生活支援拠点」を改めて再確認していくべく厚労省担当者からの講演実施について〉 〈第1回会議でも課題提起されていた「医ケアを必要とする方の緊急時の受け入れについて」論議〉 ・連携協定を結んでいる6つの短期入所事業所の中で、24時間(夜間)看護師を配置しているところがない。 ⇒普段はまぐみを利用されている方に関してはプランに落とし込めるようにするため、協定を結ぶまではしなくとも協力の依頼を打診してみる方針を確認。</p> <p>【8/19(月)県はまぐみ小児療育センター訪問】細井班長・星野係長・入山副主査の3名で上記について依頼 ⇒連携協定は出来ないがプランへの組み込みについては他事業所との組み合わせを条件に概ね了解いただいた。</p> <p>【10/2(水)第3回班会議】 〈協定事業所アンケート、連絡調整会議開催、厚労省片桐氏講演の進捗について論議・計画を立案※計画〉 〈第2回会議で報告された細井様資料「夜間・休日相談支援事業 コールセンターらいとはうすの対応例」論議〉 ※対応フローへの基幹の役割を追加の方向で整備していくことに 〈個別相談支援における登録についての進捗状況確認〉 〈「緊急相談班」という班名称を、来年度より「地域生活支援拠点検討班」(仮称)に変更を検討していく〉</p>											
班員	<p>・班長：細井 聡仁(夜間・休日コールセンターらいとはうす:主任コーディネーター)</p> <p>・久根内 恵子(十字園:生活支援課長) ・入山 涼(障がい福祉課給付係)</p> <p>・飯田 誉人(基幹西) ・肥田野 淳平(基幹秋葉) ・副班長:竹田一光(基幹西)</p>											

新潟市障がい者地域自立支援協議会組織図



参考